

北薩横断道路整備促進地方大会

地元期成会を代表して大会決議案を発表

10月29日、阿久根市民会館で鹿児島空港と北薩地域を結ぶ地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進地方大会が開催されました。

この大会は、総延長約70^キのうち約20%にあたる14^キが完成している北薩横断道路の、早期全線開通や建設財源の確保を求めするため開催されたものです。

大会では、本町や阿久根市、出水市など北薩横断道路沿線4市2町の関係者など約800人が参加。各市町の代表者が、商業や農林水産業の立場からさまざまな意見を発表し、最後に、川添町長が「地域高規格道路『北薩横断道路』全線の早期完成を図ること」など4項目からなる大会決議案を述べました。



↑大会決議案を述べる川添町長

国土交通大臣賞を受賞

平成27年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

本町の、建設・土木造成工事に伴い発生する天然石を、石積花壇や平石の法面保護に生かしているフラワーロード事業が、平成27年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で、国土交通大臣賞を受賞しました。

この賞は、行政・消費者・産業界などが連携して、これからの資源・廃棄物問題に対処するために3R（リデュース・発生抑制、リユース・再利用、リサイクル・再資源化）を通じた循環型社会形成を目指して活動している団体を表彰するものです。

九州内で国土交通大臣賞を受賞した自治体は本町が初めてとなります。



↑石を再利用して作られた石花「構」

土曜授業

～第2回～

平尾中学校

「再発見！ながしま」をテーマに

校外学習活動

9月から町内の小・中学校では、毎月第2土曜日に土曜授業が始まりました。

各学校が創意工夫をこらして実施する土曜授業を紹介します。

平尾中学校（徳永虎三郎校長、生徒44人）では、総合的な学習の時間の中で、「再発見！ながしま」をテーマに、長島町をさまざまな角度から学び、情報発信をする学習をしています。今年度は、「キャラクター班」、「歴史班」、「造形展班」の3つの班に分かれ、活動しています。

10月10日、「キャラクター班」が、道の駅だんだん市場で校外学習を実施しました。

この日は、平尾中学校オリジナルキャラクター「せとっぴー」のタオルやクッキーの販売やPRをしたり、町外から来たお客さんへは、手作りの長島町パンフレットを配り元気な声で説明

していました。また、手の空いた生徒たちは、だんだん市場周辺のゴミ拾いなども行いました。

校外学習活動に参加した梅川杏梨さんは「最初は売れるのかと心配したが、商品を買ってくれたり、私たちが作ったパンフレットを受け取ってくれたので、作ってよかったです」と笑顔で話しました。



↑手作りの長島町パンフレットを手に説明する生徒たち